SANJO ROTARY CLUB
三条ロータリークラブ 週報 No.11
2026.10.8(No.3299)
ロータリーで人生をより充実させよう

第2560地区ガバナー／富 山　洋
会　　長／小 林 吾 郎
会長エレクト／明田川賢一（クラブ奉仕A）
副 会 長／渡 辺 良 一
幹　　事／野 水 靖 之
S　A　A／渋 谷 政 道
会　　計／早 川 滝 徳
直 前 会 長／柳 取 崇 之
会長ノミニー／成 田 秀 雄（クラブ奉仕B）

例会日／毎週水曜日12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10　三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477　FAX 32-7095
E-mail：sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数：56名中29名
■前回の出席率：76.36%

【ゲスト】
・国際ロータリー第2560地区ガバナー
富山　洋 様（雪国魚沼RC）
・第4分区ガバナー補佐
長澤敬一 様（加茂RC）
・地区筆頭副幹事
小野塚　徹 様（雪国魚沼RC）

【ビジター】
・三条RAC会長　鈴木樹生さん

【先週のメークアップ】
［10.1］三条RACへ
・野水靖之さん、　高橋俊樹さん、
・五十嵐博宣さん
［10.2］第4分区ガバナー補佐職務についてのヒアリング（三条）へ
・関川　博さん
［10.3］新発田城南RC創立60周年記念式典へ
・吉井直樹さん、　野水靖之さん
［10.3］赤い羽根共同募金街頭募金へ
・荻根澤隆雄さん
［10.5］三条南RCへ
・五十嵐晋三さん

持続可能なインパクトを生み出そう
2026～2027年度 国際ロータリー会長メッセージ





代表会長挨拶



加茂ロータリークラブ
森山一理 会長

♪日も風も星も～ラララ歌うよ～♬（ロータリーソング日も風も星も）

本日は富山洋ガバナー、長澤敬一ガバナー補佐、小野塚徹筆頭副幹事様、ようこそ4クラブ合同ガバナー公式訪問にお越しくださいました。また、三条クラブ、三条南クラブ、加茂クラブ、田上あじさいロータリークラブの皆様ようこそ加茂市にお越しくださいました。心より歓迎申し上げます。

今回の4クラブ合同ガバナー公式訪問は、長澤第4分区ガバナー補佐の立案で「富山ガバナーのご負担を少しでも軽減しよう」という、優しい思いやりのある心から実現しました。私といたしましては「合同公式訪問はめんどくさい!加茂クラブ単独で開催すれば簡単なのに…」と当初は思いましたが、本日午前中のガバナーと各クラブ会長幹事、次期会長幹事との懇談会で、各クラブの現状を知る事ができ、いろいろ懇談させていただいて、とても有意義な4クラブの合同ガバナー公式訪問であったと感じております。

3月28日に魚沼市の魚沼市民会館において開催された「クラブ会長・幹事エレクトラーニングセミナー」（旧PETS）に参加させてい

ただきました。富山洋ガバナーはグレイのブレザーを羽織って笑顔で受付に立ち我々参加者を迎えてくださいました。

御年65才ということです。世間では「えらいおっさんやなー」という年齢ですが、ロータリークラブでは若いガバナーです。エネルギッシュで頼もしい限りです。頑張って下さいませ。

セミナーの受付でいただいたのはQRコードが印刷された紙1枚だけです。冊子のプログラムが無いのです。QRコードで読み取るプログラムなのです。「これは新しいな～」と感じました。今や時代はペーパーレスの時代です。加茂クラブも現況報告書を事務局さんが手間暇かけて製作して下さって、会員のメールアドレスにデータとして送る方法を取りました。

富山洋ガバナーの素晴らしいところは、電気工事業を営んでおられますが、現在も腰袋を下げて現場に駆けつけているというお話を伺い感動しました。なかなかそういうガバナーは今までいなかったのではないかと思います。富山洋ガバナーは『「ロータリーで人生をより充実させよう」。大切なのは高い職業倫理を持ち、地域の方々から「あの人は良い人だ」と言われる人になろう』と提唱しております。正にその通りだと思います。

終わりに「とやまひろし」のキャッチフレーズのカードを作って参りましたので披露します。

と・共に歩もう
や・やさしい心で
ま・待ってました
ひ・ひろし君
ろ・ロータリーの
し・新時代の幕開けだ。

本日はよろしくお願いいたします。おあとが宜しいようで…。

ニコニコBOX

国際ロータリー第2560地区ガバナー　富山　洋様、
明田川賢一さん、　斎藤弘文さん、　本間幸雄さん、
安達俊明さん、　渋谷政道さん、　丸山行彦さん、
飯塚一樹さん、　白倉徳幸さん、　柳取崇之さん、
五十嵐博宣さん、　杉山幸英さん、　吉井直樹さん、
岩橋美穂さん、　関川　博さん、　渡辺良一さん、
荻根澤隆雄さん、　高橋俊樹さん、　小越憲泰さん、
津野勇司さん、　嘉瀬一洋さん、　西山徳芳さん、
小林吾郎さん、　野崎喜一郎さん、　小林仁志さん、
野水靖之さん、　近藤雄介さん、　早川滝徳さん、
齋藤直人さん、　船越良則さん

グループ公式訪問を迎えて

10月8日分	￥32,000
今年度累計	￥441,000

「ガバナー講話」



国際ロータリー第2560地区
ガバナー　富山　洋 様
（雪国魚沼RC）

● テーマ

ロータリー活動は、持続可能なインパクトを生み出すことを目指し、会員自身がその最大の財産である。会員は「自分を含めたすべての関係者にとって公平であるべき」というウィンウィンの理念に基づき、自らの信用とロータリーバッジの価値を誇りに思うべきである。また、心を動かすストーリーテリングで活動の意義を伝え、会員増強、退会防止、ハラスメント対策に取り組むことで、ロータリー活動を通じて人生をより充実させることが重要である。

● キーポイント

1. **持続可能なインパクト**:プロジェクトがもたらす測定可能な長期的で好ましい変化。根拠に基づく判断（evidence-based decision）が重要となる。
2. **会員の価値**:ロータリアン自身が、自らの時間や資金を投じて活動する、ロータリーにおける「持続可能なインパクト」そのものである。
3. **ウィンウィンの理念**:「みんなのため」とは他者だけでなく自分自身も含む全員が利益を得る公平な関係を指し、自己犠牲は持続可能な奉仕に繋がらない。
4. **会員増強と維持**:2030年までに世界会員数125万人、地区では2027年6月末までに2027名以上を目指す。孤立を防ぐための歓迎的な姿勢と関係構築が退会防止の鍵となる。
5. **ストーリーテリング**:数字だけの報告ではなく、具体的な情景や人の言葉を含む心を動かす物語で活動を伝えることが、共感と認知度向上に不可欠である。
6. **職業倫理**:ロータリーの目的の核心は、職業上の高い倫理基準を「保ち」、各自の職業を高潔なものにすることである。



7.ハラスメント防止:ハラスメントの定義は広く、発生時は「黙らない・隠さない」を徹底し、特に青少年が関わる案件は72時間以内の迅速な報告が義務付けられる。

8.情報活用:公式機関誌「ロータリーの友」の購読は会員の義務である。また、「マイロータリー」のラーニングセンターは経営にも役立つリソースであり、登録率80%以上を目指す。

9.財団の透明性:ロータリー財団への寄付の87%はプログラムと運営に充てられ、外部評価でも効率性が認められている。

10.説明能力:「30秒でロータリーを説明する」スキル(エレベーターピッチ)を身につけ、日常的にその価値を伝えられるようにするべきである。

●トピック

1.持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)

国際ロータリーのテーマであり、活動がもたらす「長期的で好ましい変化」を指す。このインパクトは測定可能であることが重要で、「根拠のある判断(evidence-based decision)」の実践が求められる。活動はリソースの投入から始まり、即時的な結果、中期的な成果を経て、最終的にインパクトを生み出すという段階的な評価が推奨される。

2.ロータリアンの価値と「ウィンウィン」の理念

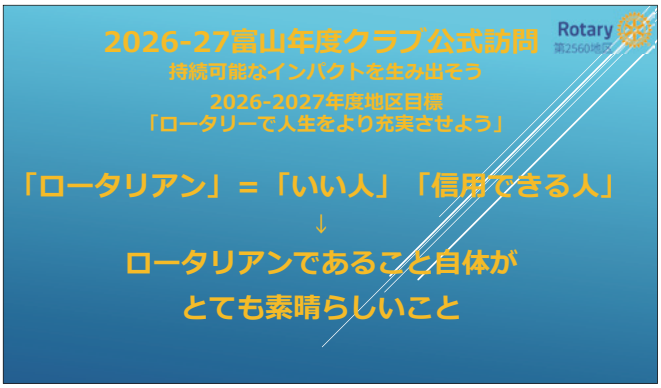
ロータリーがもたらす最大のインパクトは、会員であるロータリアン自身である。また、四つのテストにある「みんなのため」とは、自分自身を含めた全関係者が利益を得る「ウィンウィン」の関係を指す。他者を優先して自分が犠牲になる関係は持続的ではない。奉仕は利益目的ではないが、信用の構築を通じて自らの仕事に繋がることもあり、「最もよく奉仕するものが最も多く報いられる」という理念も存在する。

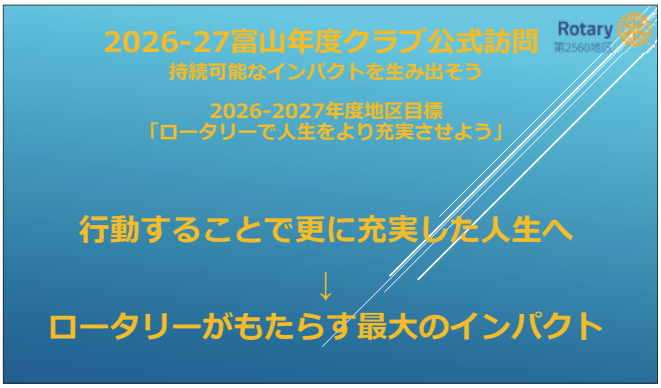
3.ストーリーテリングの重要性

活動の価値を伝えるには、参加人数や寄付額といった数字の報告だけでは不十分である。具体的な情景や関わった人の感情・言葉を盛り込んだ「物語」として語ることが、人の心を動かし、ロータリーへの共感と認知を広げるために不可欠である。「30秒でロータリーを説明する」エレベーターピッチの習得も推奨される。

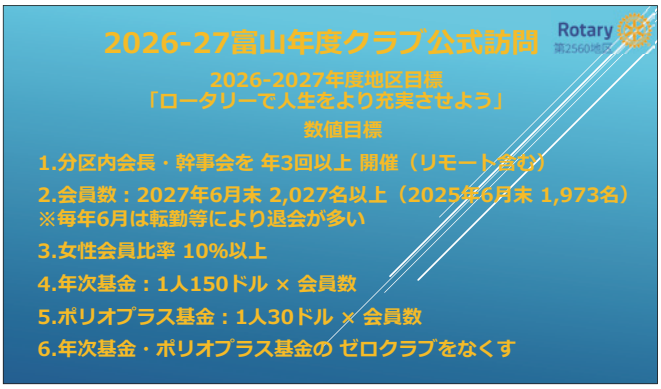
4.会員増強と退会防止

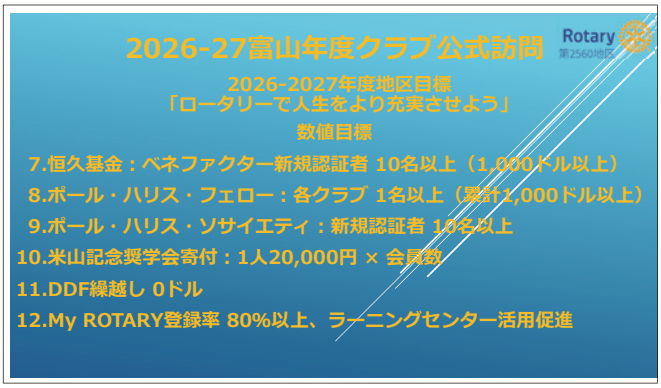
2030年までに世界会員数125万人という目標達成に向け、会員増強が重要課題である。退会理由として挙げられる「多忙」の背景には、クラブ内での孤立や関係性の希薄さが隠れていることが多い。新しい会員を温かく迎え入れ、例会で話す機会のない人











に積極的に声掛けをするなど、一人ひとりの歓迎的な態度がクラブの活性化と退会防止に繋がる。

5.ハラスメント防止と報告体制

ロータリーにおけるハラスメントの定義は広く、年齢、性別、人種など様々な特性に基づく中傷や攻撃が含まれる。同じ行為でも日頃の関係性によって受け取られ方が変わるため、良好な人間関係の構築が予防になる。万が一事案が発生した場合は「黙らない・隠さない」を原則とし、クラブ内で会長・幹事から地区へ迅速に報告する。特に青少年が関わる案件は72時間以内の報告が厳守される。

6.運営方針とリソース活用

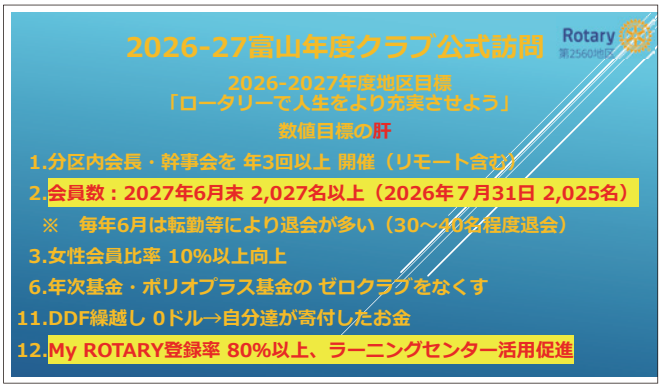
地区運営方針として、会員数維持（2027年6月末までに2027名以上）と「マイロータリー」登録率向上（80%以上）が重要目標とされる。マイロータリー内のラーニングセンターは、ハラスメント防止講座など、クラブ運営や個人の事業経営にも役立つコンテンツが豊富であり、積極的な活用が求められる。

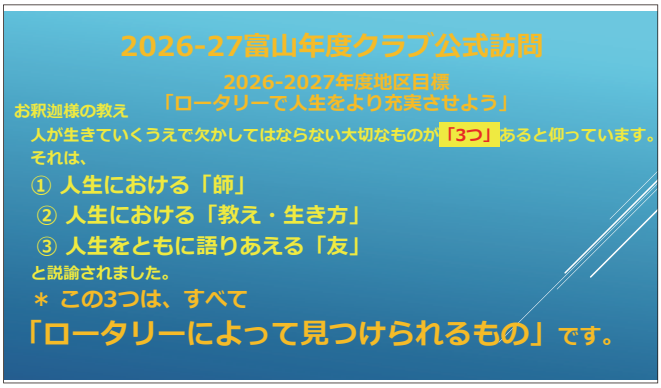
7.分区再編と財団寄付

地区内の分区ごとでクラブ数・会員数に不均衡が生じているため、実態の課題を分析し、測定可能なエビデンスに基づいた再編が検討されている。また、ロータリー財団への寄付は、87%がプログラム補助金と運営に充てられる透明性の高い仕組みであり、外部機関からも高く評価されている。

● 提言

- 素晴らしい活動を、単なる報告ではなく、心に残る感動的なストーリーにして会員以外にも伝えていきましょう。
- 例会で孤立しがちな会員に積極的に声をかけ、退会を未然に防ぎましょう。
- ハラスメントが疑われる事案は、決して隠さず、定められた手順（会長→幹事→地区）に従い迅速に報告してください。
- 公式機関誌「ロータリーの友」を読み、マイロータリーのラーニングセンターを活用して、自己と事業の発展に役立ててください。
- 転勤で退会する会員には、新しい赴任地でもロータリーへの入会を勧めましょう。







●開会点鐘（三条RC小林会長）



●閉会挨拶（田上あじさいRC細井会長）



●閉会点鐘（三条南RC吉沢会長）



●ガバナーとの記念撮影

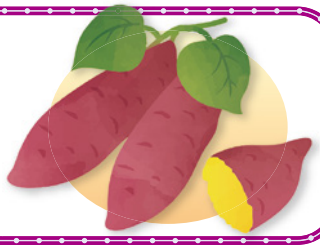


●グループ懇談会参加者（各クラブ会長、幹事、会長エレクト、幹事エレクト）の記念撮影

― 例会の様子 ―



次 週 例 会	10 月 21 日	「会員卓話」	山田富義 会員
次々週例会	10 月 28 日	「外部卓話」	三条市教育委員会 教育長　熊倉隆司 様



皆様の写真で本週報の表紙を飾ってみませんか？

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル（キャプション）を入れてメールでお送りください。
宛先は小林卓哉会員宛「taku.kobayashi@bb.wakwak.com」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。